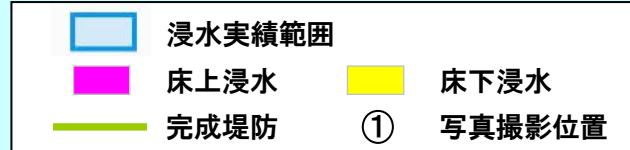
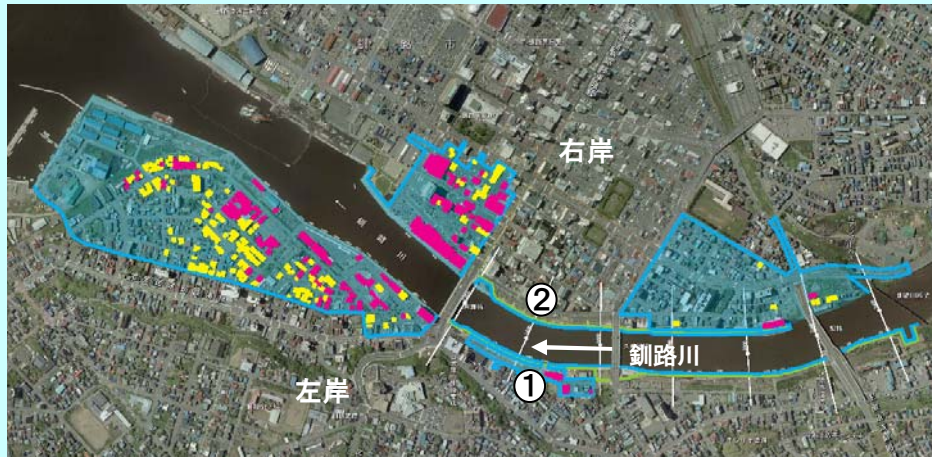


～ 平成 23 年 3 月 11 日東北地方太平洋沖地震により発生した津波による釧路川の被害状況について ～

■ 釧路建設管理部では、釧路川の幣舞橋～旭橋間において堤防整備を進めています。堤防は津波による市街地の浸水被害を広範囲にわたって防止する効果を果たしました。

1. 浸水実績範囲図



痕跡から堤防天端付近まで津波が到達したことがわかります

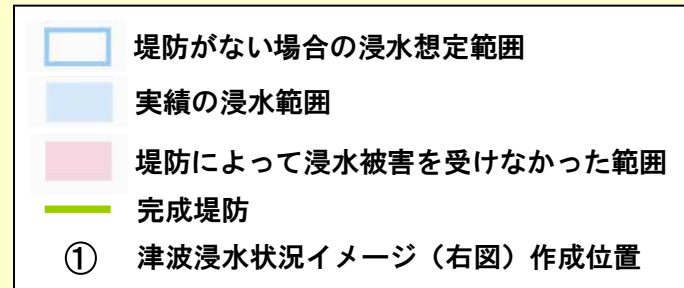
● 堤防未整備の場合：浸水域はさらに広範囲に及んだものと思われる

2. 釧路川の堤防により浸水被害を受けなかった範囲



堤防によって、市街地の浸水被害を防止できました

堤防によって住宅地の浸水被害を防止できました



● 浸水想定範囲
旭橋水位観測所の最高水位 (H23.3.11 23:50 H=1.79) と同じ高さの範囲としました。

3. 堤防がない場合の津波浸水状況イメージ

● 現状(堤防整備済)：市街地に浸水被害はありませんでした

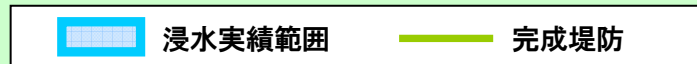
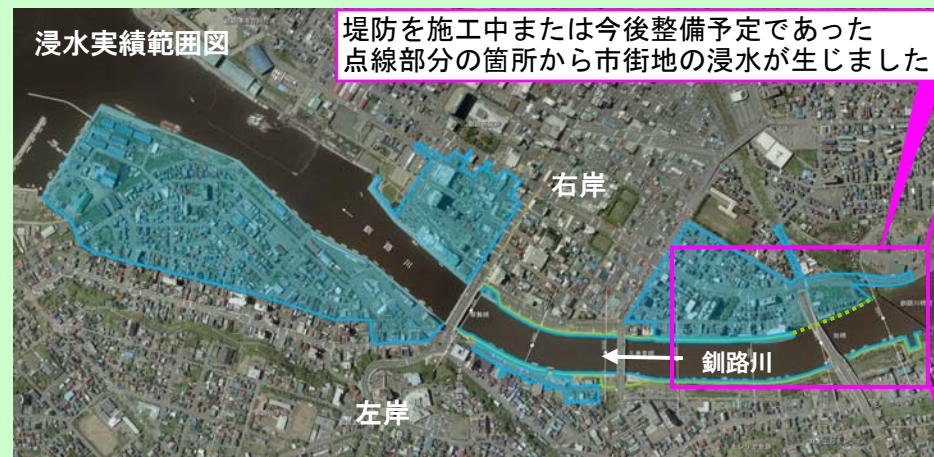


● 堤防がない場合：今回の津波は市街地に浸水被害を及ぼしたものと考えられます

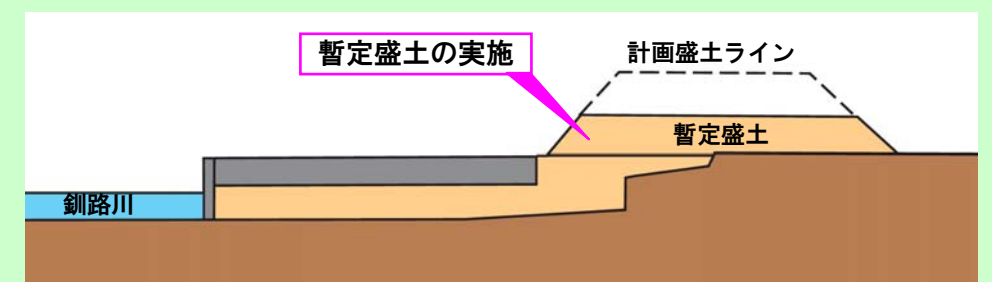


■ 北海道では今回の津波被害を受けて、予定を変更して平成 23 年度に下記の取組みを行います。

4. 河川改修工事の当面の取組み（築堤工の実施）



- 旭橋下流右岸
平成 22 年度に引き続き、築堤工を実施します
- 旭橋上流右岸
旭町浸水区間の暫定盛土を一年繰り上げて実施します



横断面図（川の上流側から見た図）